

## 介護・医療連携推進会議開催報告書

平成30年 3月 9日

事業所名	都筑区医師会24時間在宅ケアステーション		
担当者	青柳かおる	電話番号	045-913-3577
1 開催日時	平成 30 年 3 月 9 日 14:00 ~ 14:30		
2 開催場所	都筑区医師会館 理事長室		
3 出席者	出欠		
(1) 委員 8 人	出	木下 均	(利用者・利用者家族)
	欠	松本 裕	(地域住民の代表者)
	出	堀元 隆司	(地域の医療関係者)
	出	斉木 和夫	(地域の医療関係者)
	出	小川 憲章	(地域の医療関係者)
	出	小林 雅子	(地域の医療関係者)
	出	渡會 祥子	(定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)
	出	成田 真一	(地域包括支援センター職員)
	出	谷合 清佳	(横浜市職員、区職員、)
(2)	大山 学	横浜市都筑区医師会会長	
(3) 事務局 4 人	青柳 かおる	管理者	
	宮島 佳代	都筑区医師会訪問看護ステーション看護師	
	吉井 涼子	都筑区医師会在宅事業部門統括管理者	
	後藤 瑞佳	都筑区医師会24時間在宅ケアステーション事務	
4 活動状況報告	別紙のとおり (会議開催時配付資料 第2号様式)		
5 活動状況に関する評価	今期の活動は概ね適切に実施されている。		
6 要望、助言	<p>1 サービス評価表について、評価に定量的なものを書いて欲しい。</p> <p>2 サービス評価表の回答の中に、サービス内容が変わったとあったが、制度が変わったのか。</p> <p>3 サービス評価表の回答の中に、天候等により訪問できない時もあるとあるが、説明は利用者にして いるのか。</p> <p>4 ケアマネジャーをしているが、この制度はコスト面で利用者が大変であるため、利用したことがない。 また、コールが頻回だと、事業所が大変で訪問しきれなくなると聞いた。</p>		
7 要望、助言に対する考え方	<p>1 次年度から、回答内容により、定量的表現と定性的表現を使い分けるようにする。</p> <p>2 制度ではなく、具体的なサービス内容のことであるため、わかりやすい表現に修正する。</p> <p>3 重要事項説明書に災害時のサービス提供についての事項があり、災害や悪天候時の訪問時間の遅延や サービスの中止について、契約時に説明している。</p> <p>4 この制度の利用料は定額で介護度が増すごとに高くなるので、一般的にケアマネジャーは訪問介護と比較し、 それぞれのサービスの特性と利用料を鑑み検討している。利用者のケアプランによっては高く感じるかもしれない また、この制度のサービスのひとつである、随時コールの対応については、コールが頻回すぎると、対応に追わ れ、他の利用者の訪問にも影響し、介護職員も疲弊する。頻回すぎるコールは、原因があり、ケアマネジャーや 医療・インフォーマルサービス等も関わり、対策について検討が必要と思う。</p>		
8 その他特記事項	次回、推進会議は 平成30年7月頃		

<b>1 利用者の状況</b> ( 2月1日現在)		1 人 (男性 1 人、女性 0 人)					
内 訳		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
		0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	
1月	利用開始	(特記事項) 要介護2 独居の男性。大腸がんのため、ストマ造設している。 訪問看護：					
	利用終了						0 人
2月	利用開始						0 人
	利用終了						0 人
	利用開始						0 人
	利用終了						0 人
	利用開始	0 人					
	利用終了	0 人					
<b>2 主な活動、出来事</b>							
1 月	12 日	平成29年度第3回：介護・医療連携推進会議					
1 月	20 日	介護技術研修参加					
2 月	9 日	横浜市 平成 30 年度介護報酬改定 講演会参加					
2 月	14 日	平成29年度 横浜市地域密着型サービス事業者等集団指導講習会					
<b>3 事故等の状況</b>							
	月 日	無し					
<b>4 職員の異動</b>							
なし。							
<b>5 次期の主な活動予定</b>							
3 月	6 日	よこはま地域ネット24(横浜市定期巡回・随時対応型訪問介護看護連絡会)事例発表					
	月 日						
	月 日						
	月 日						
	月 日						
<b>6 特記事項、その他</b>							
特になし							